

◎ Top Commitment トップコミットメント

グループ理念「東京を走らせる力」を
念頭に、持続的な企業価値の向上を
図ってまいります。

▶ 地中熱利用空調システムを導入する予定の
総合研修訓練センター（仮称・建設中）の前にて



東京地下鉄株式会社
代表取締役社長

奥 義光

「東京の案内役」「東京圏の交通ネットワークのつなぎ役」として

平素より東京メトログループの事業活動にご理解を賜りまして、ありがとうございます。

東京メトロは、東京都区部を中心に9路線 195.1kmの地下鉄を運営し、うち7路線で他社と相互直通運転を実施しています。そのネットワークは、相互直通運転先を含め、合計で532.6kmにもなり、1日684万人のおお客様にご利用いただく、首都圏の広域鉄道ネットワークの中核を担う企業です。

首都東京の都市機能を支える公共交通機関である当社は、「東京の案内役」「東京圏の交通ネットワークのつなぎ役」として、お客様を安全に確実に目的地までお届けすることはもちろん、お客様の日常をサポートする関連事業にも取り組んでいます。また、地域社会との密接なコミュニケーションや、地球環境保全への取組み、コンプライアンス経営に努めることにより、社会からも高く評価され、信頼される企業を目指しています。

全てのお客様に「安心」してご利用いただける環境を作ることはもちろん、まちづくりや沿線との連携による「成長」や、様々な観点で研究・開発などにも「挑戦」していきます

2015年度が最終年度となる中期経営計画「東京メトロプラン2015～さらなる安心・成長・挑戦～」においては、「安心」・「成長」・「挑戦」の3つのキーワードを計画の柱として進めています。

「安心」＝「安全」＋「サービス」という考えのもと、自然災害対策をはじめとする安全の確保・安全性の向上、そしてお客様視点に立った質の高いサービスの提供の2つをセットにした取組みを進めています。2014年度には、全ての駅でエレベーター等によるバリアフリー1ルートの整備を完了しました。今後も、一層努力して全てのお客様に「安心」をお届けする施策に取り組めます。

また、「伝統と先端」の路線コンセプトのもとに実施している銀座線リニューアルの一環として、「まちの地下1階」をテーマに駅デザインコンペを行うなど、まちづくりとの連携、沿線の魅力や価値向上の施策を進めました。鉄道事業の強みを活かした関連事業の展開も合わせて、今後も東京メトロは首都東京とともに「成長」していくことを目指します。

そして、1927(昭和2)年に東洋初の地下鉄として浅草駅～上野駅間に開業した当初から日本初のATS(自動列車停止装置)を導入した進取の精神を受け継ぎ、

東京メトロはホームドアや省エネルギー車両といった各時代の先端技術を取り入れ、業界に先駆けた安全性向上と省エネルギー化を実現してきました。

今後も、様々な観点で研究・開発に積極的に取り組むとともに、これまで87年間培ってきたノウハウを活かした海外展開を進めるなど、新たな可能性に向けて社員一人ひとりが「挑戦」する企業風土をより一層醸成していきます。

社会環境の変化に対応し、持続可能な事業を展開します

ここにお届けする報告書は、社会・環境への貢献をはじめとする東京メトロのさまざまな活動をご紹介します。

中長期的には人口の減少、少子・高齢化の進展など、経営環境は一層厳しさを増すと思われませんが、中でも、東京メトロが将来にわたって期待される役割を果たし続けていく必要があると考えています。

具体的には、国際都市「東京」のブランド力向上に資するため「東京の魅力」と「東京メトロの魅力(安心)」の発信をテーマに、2014年9月に策定した「東京メトロ“魅力発信”プロジェクト」に基づき、世界トップレベルの安心でお客様をお出迎えし、これまで以上に地下鉄をわかりやすく快適にご利用いただくとともに、沿線地域と密に連携し、東京の魅力を十二分に発信することで、東京を楽しく過ごしていただくことを目指します。

加えて、さらなる「安心」を提供していくために不可欠である人材育成のための場にふさわしいベースキャンプとして、従来にない、より実践的な訓練設備を備えた総合研修訓練センター(仮称)の建設を進めています。

さらに、地球環境保全を経営課題の一つと捉え、長期環境戦略「みんなでECO.」に基づき着実に経営を進めることにより、環境負荷の低減と魅力と活力ある首都東京の実現に貢献していきます。具体的には、環境配慮型車両の導入などに加え、太陽光発電設備や地中熱利用空調システム、世界初の駅補助電源装置の導入などの再生可能エネルギー活用施策を積極的に進め、東京を環境面からも支えていきます。

以上のような施策について、東京メトログループの社員一人ひとりが一丸となり、全力で取り組むよう努めていきます。皆様の一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。